

一級河川芦田川水系下流ブロック  
河川整備計画アンケート結果

広島県

目 次

	頁
1. アンケート調査概要	1
2. アンケート調査票	3
3. アンケート調査結果	5
3.1 基本属性	5
3.2 川に対して感じていること	9
3.3 洪水に対する防災意識について	10
3.4 その他（自由意見）	13

## 1. アンケート調査概要

### (1) 調査対象者

アンケート調査は、紙媒体の調査とWEB調査を実施した。紙媒体では発注者との協議のもと、下記配布範囲を対象とし、町内会の協力により回覧版と一緒に配布する形とし、WEB調査では広島県HPに公開し回答を得るものとした。



### (2) 配布数

<紙媒体>

1,101部：配布部数は町内会への開取りによる

<WEB媒体>

無制限：広島県HPに紙媒体と同じ内容のアンケート（Excel形式）を掲載

### (3) 配布方法

紙媒体の配布方法は、次のとおりとした。

【配布方法】：町内会の回覧版に添付して配布（角2封筒）

【配布資料】：整備計画説明書（A3カラー両面2つ折）、アンケート調査票（A3白黒両面2つ折）、返信用封筒

### (4) アンケート調査期間

アンケート調査期間は、次のとおりとした。

令和元年11月15日（金）～令和元年12月9日（金）（15日間）

### (5) アンケート回収率

アンケート回収率は以下のとおりである。

形式	配布数	回答数	回収率
紙	1,101通	467通	42.4%

※令和元年12月までの消印のあるものを集計対象とした。

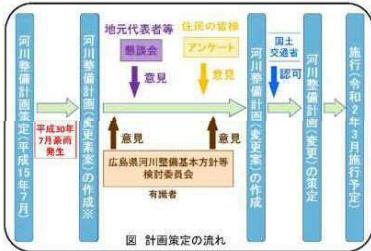
## 2. アンケート調査票

アンケート調査票は、以下に示すとおりである。

### ■河川整備計画とは・・・

河川整備計画は河川法により、概ね今後30年間の芦田川水系芦田川下流ブロックにおける河川の整備内容に関する計画を策定するものです。

河川整備計画の策定にあたっては、住民の皆様のご意見を参考にしながら、策定してまいります。



※「芦田川下流ブロック河川整備計画(変更案)」は、広島県ホームページ(https://www.pref.hiroshima.lg.jp/)のほか、広島県東部建設事務所で見ることができます。

〈連絡先〉  
 広島県 東部建設事務所  
 工務課二課 河川排水対策担当 藤本・松本  
 〒720-8511 福山市吉吉町1-1-1  
 TEL 084-921-1311(代表) FAX 084-920-0218

### 芦田川下流ブロックの川づくりについて みなさんのご意見をお聞かせください！

日頃より、広島県行政の推進にご協力いただき、お礼を申し上げます。

芦田川水系下流域では、平成15年に「一級河川芦田川水系芦田川下流ブロック河川整備計画」を策定し、河川整備を行ってまいりましたが、平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害が発生しました。

そのため現在、福山市神辺町において平成30年7月洪水相当の流量で同様の被害を防止するため、古市排水ポンプ場(天王前川)の機能増強及び設備更新を進めており、令和2年度末の完成を目指しています。

これら状況を踏まえ、広島県では、今後30年間の河川の整備内容である「一級河川芦田川水系芦田川下流ブロック河川整備計画」を、アンケートによる住民の皆様のご意見を参考にしながら、策定してまいります。

よりよい川づくり検討のため、ご協力をお願いいたします。

※このアンケートにより収集した情報は、河川整備計画(変更)の作成のみ使用いたします。

## 古市排水ポンプ場(天王前川)の整備内容と既往の被害状況について

### 河川と流域の概要

古市排水ポンプ場の流域は、天王前川と中瀬川という、2つの広島県管理河川の下流部に位置しています。両河川は、この2河川からの洪水を、ポンプ場で高層川へ排水し流します。

天王前川は、福山市神辺町平野の穂積山に発し、古市排水ポンプ場まで高層川へ合流します。また、中瀬川は、天王前川の西側に位置し、天王前川と同様に古市排水ポンプ場まで高層川へ合流します。

流域の土地利用は約7割が山地が占めており、その他、約2割が水田・畑、約1割が住宅地・道路等となっています。

流域面積(km <sup>2</sup> )	管理延長(km)
天王前川 1.84	817
中瀬川 0.34	135
合計 2.18	-

### 平成30年7月の洪水による被災状況

古市排水ポンプ場

区分	被災戸数(世帯)	被災人口(人)	被害総額(万円)
水田	247	347	252.0
畑	301	369	301.0
住宅	163	163	163.0
その他	654	654	654.0

※「福山市域における洪水対策」とりまとめ(平成30年2月8日)より転載

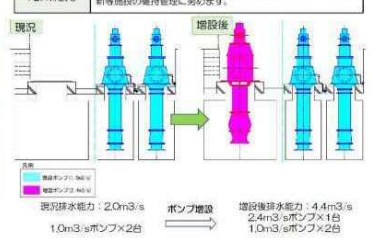
### 河川整備と維持の概要(ポンプ場の機能増強と維持管理)

古市排水ポンプ場  
 昭和54年(1979年)竣工  
 排水能力: 2.0m<sup>3</sup>/s (1.0m<sup>3</sup>/sポンプ×2台)  
 排水量: 約1,000m<sup>3</sup>



河川整備  
 既存ポンプに加え、ポンプ(排水能力2.4m<sup>3</sup>/s)を増設することで、平成30年7月洪水相当の流量に達して同様の浸水被害が生じることのないよう、機能増強を図ります。

河川維持  
 定期的な点検を行い、洪水時に機能を維持できるように、設備更新や施設の維持管理に努めます。



【アンケートのお願い】

◆今回のアンケート調査は、芦田川下流ブロックにおける河川整備計画を策定するにあたり、地域住民の皆様からのご意見を伺うことにより計画の方向性を定めるため、河川整備計画の策定に重要な役割を果たさせていただきます。

◆このアンケート調査は、河川法(河川管理基本法)に基づき、河川整備計画(河川整備計画)の策定に必要とされています。

◆1日5分程度のご参加で、本アンケートの目的は達成いたします。ご参加のお願いです。

◆回答は、匿名で集計いたします。ご協力をお願いします。

◆ご質問は、お問い合わせ先までお問い合わせください。

◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

【アンケートのお願い】

◆今回のアンケート調査は、芦田川下流ブロックにおける河川整備計画を策定するにあたり、地域住民の皆様からのご意見を伺うことにより計画の方向性を定めるため、河川整備計画の策定に重要な役割を果たさせていただきます。

◆このアンケート調査は、河川法(河川管理基本法)に基づき、河川整備計画(河川整備計画)の策定に必要とされています。

◆1日5分程度のご参加で、本アンケートの目的は達成いたします。ご参加のお願いです。

◆回答は、匿名で集計いたします。ご協力をお願いします。

◆ご質問は、お問い合わせ先までお問い合わせください。

◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

【アンケートのお願い】

◆今回のアンケート調査は、芦田川下流ブロックにおける河川整備計画を策定するにあたり、地域住民の皆様からのご意見を伺うことにより計画の方向性を定めるため、河川整備計画の策定に重要な役割を果たさせていただきます。

◆このアンケート調査は、河川法(河川管理基本法)に基づき、河川整備計画(河川整備計画)の策定に必要とされています。

◆1日5分程度のご参加で、本アンケートの目的は達成いたします。ご参加のお願いです。

◆回答は、匿名で集計いたします。ご協力をお願いします。

◆ご質問は、お問い合わせ先までお問い合わせください。

◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

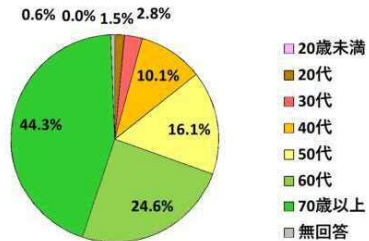
◆ご参加のお願いです。ご協力をお願いします。

### 3. アンケート調査結果

#### 3.1 基本属性

質問 1. あなたの年齢を教えてください。

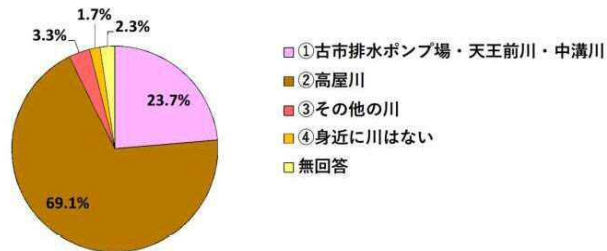
回答した人の年代で最も多いのは「70歳以上」であり、続いて「60代」、「50代」の割合が高く、60歳以上の回答者が約70%と非常に高い割合を占めている。



回答数 467

質問 2. 現在お住いの天王前川水系および隣接する地域において「身近な川」はどれですか

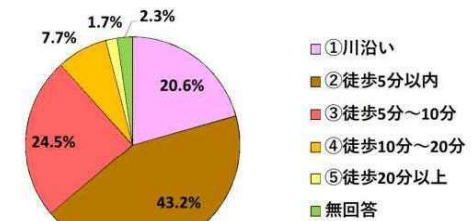
身近に感じる河川は、高屋川が約70%を占め、支川では古市排水ポンプ場・天王前川・中溝川が約24%と高い割合になっている。



回答数 482

質問 3. あなたが現在お住まいの場所は、「身近は川」からどのくらいの距離ですか

川から徒歩5分以内にお住まいの人から約64%の回答が得られており、回答した人の多くが沿川に居住しているのがわかる。



回答数 470

質問 4. あなたはいつから現在の場所にお住まいですか

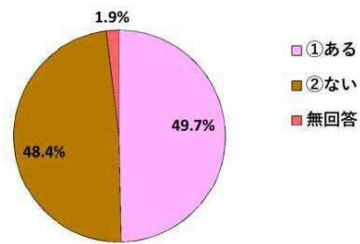
「平成10年以前」から住んでいると回答した人が約70%を占めており、古くからの住民が多いことがわかる。



回答数 467

質問 5. 現在お住まいの場所で水害を経験したことがありますか

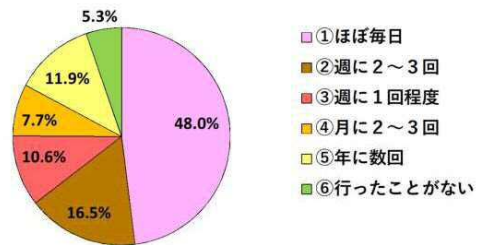
水害を経験したことのある人が半数の約50%、経験したことのない人は約49%となっている。



回答数 467

質問 6. 「身近な川」を訪れるのはどの程度ですか

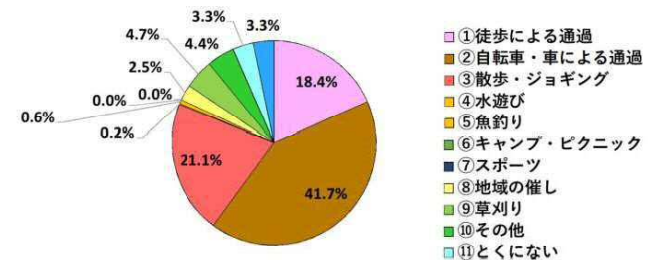
「身近な川」を訪れる頻度は「ほぼ毎日」と回答した人が約48%を占めている。次に「週に2回～3回」が約17%という結果になっている。



回答数 467

質問 7. 「身近な川」を訪れる主な目的は何ですか

「身近な川」を訪れる主な目的は「自転車・車による通過」という回答した人が約42%となっている。次に「散歩・ジョギング」による回答した人が約21%占める。

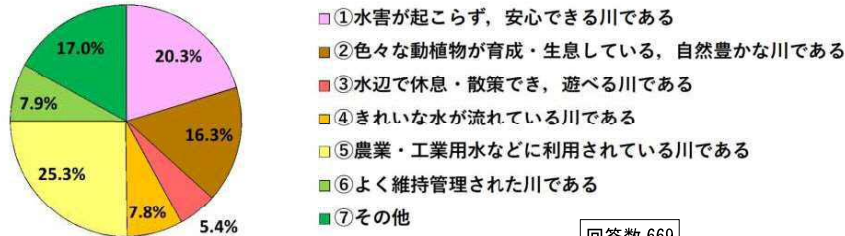


回答数 620

### 3.2 川に対して感じていること

質問 8. 現在、「身近な川」に対してどのように感じていますか

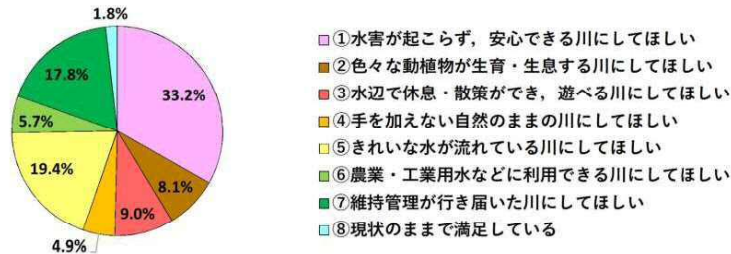
現在、「身近な川」に対してどのように感じていますかという問いに対して、天王前川水系においては「農業・工業用水などに利用されている川である」と回答した人が約 25%と高くなっている。



回答数 669  
複数回答

質問 9. 今後、川に対して特に何を期待しますか

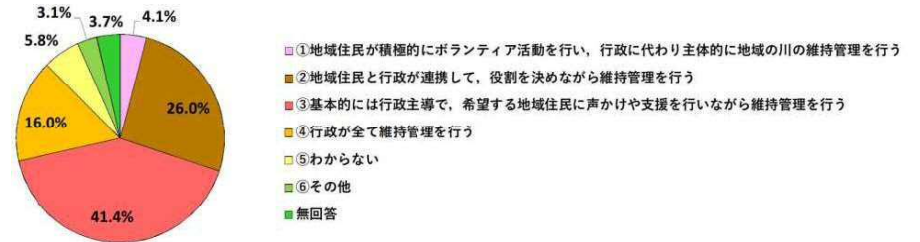
今後、川に対して期待することとして「水害が起こらず安心できる川にしてほしい」と回答した人が約 33%、「きれいな水が流れている川にしてほしい」と回答した人が約 20%となった。



回答数 1,203  
複数回答

質問 10. 平常時における川との関わり方に関する考えに、最も近いものを選んでください

平常時における川との関わり方に関する考えへの回答は「基本的に行政主導で、希望する地域住民に声かけや支援を行いながら維持管理を行う」が約 42%と最も高くなっている。

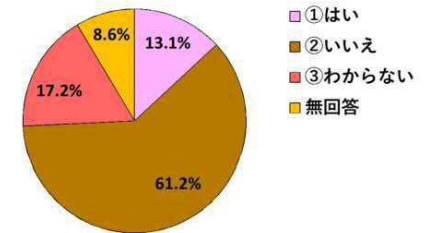


回答数 484

### 3.3 洪水に対する防災意識について

質問 11. あなたの住んでいる場所は、洪水に対して安全だと思いますか

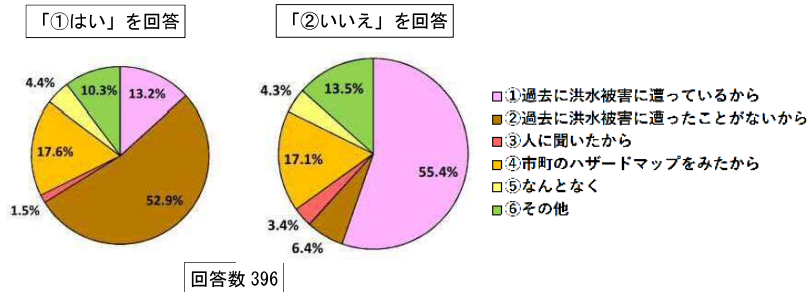
約 62%の人が、住んでいる場所は洪水に対して安全だと思っていない。



回答数 426

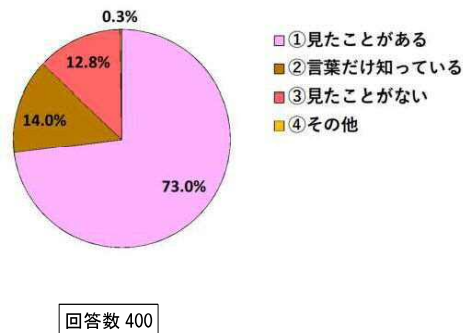
質問 12. 質問11で「①はい②いいえ」を選択した理由をお聞かせください

質問11で「①はい」を選択し、「過去に洪水被害に遭ったことがないから」と回答した人は約50%、質問11で「②いいえ」を選択し、「過去に洪水被害に遭っているから」と回答した人は約45%となっている。



質問 13. お住いの地域のハザードマップを見たことがありますか

ハザードマップについては「見たことがある」という回答した人が73%となり、ハザードマップを実際に見たことのない人は13%未満と少ない。



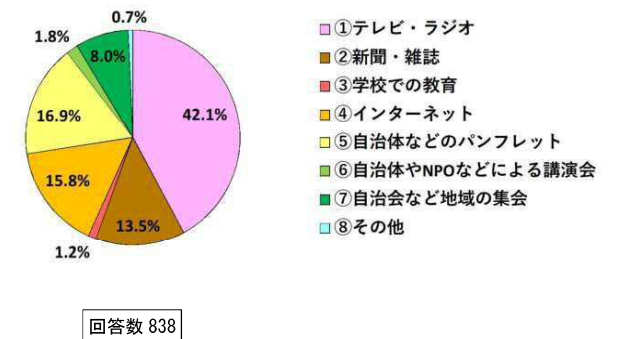
質問 14. あなたが防災情報の収集を行う際に、最も利用するものは何ですか

防災情報の収集を行う際に、最も利用するのは「テレビ・ラジオ」が約45%と過半数を占めている。



質問 15. 防災に関する知識を、あなたはどのように入手していますか

回答者の約42%が「テレビ・ラジオ」で防災に関する知識を入手している。次に多いのが「自治体などのパンフレット」の約17%、「インターネット」の約16%が続く。



### 3.4 その他（自由意見）

質問 16. その他、河川全般についてお気づきの点などありましたら、お聞かせください

アンケートの意見要約を以下に記す。

回答数 110

回答項目数 164

#### 治水についての意見

- ・ 浸水被害が心配
- ・ ポンプ設備を増強して欲しい
- ・ 平成 30 年 7 月豪雨で、高屋川から逆流等により周辺が水没した
- ・ 河川整備を進めて欲しい
- ・ 高屋川において、上流側よりも下流で川幅がせまい所がある
- ・ 古市の排水機能は旧神辺全域に影響し、七日市、三日市、後町、埴南が浸水してしまう

#### 利水についての意見

- ・ 天王前川の取水スルースゲートを、洪水前に開けてほしい

#### 河川環境についての意見

- ・ 下水道整備を実施し、川の水をきれいにしてほしい
- ・ 子供が安心、安全に遊べるスペースが欲しい
- ・ ヌートリア、ジャンボタニシ等外来種がたくさんいる
- ・ 鳥類等の生息場所となっている

#### 維持管理についての意見

- ・ 河川敷の草刈りを行わないと、ゴミの投げ捨てが多くなり環境が悪化する
- ・ 高屋川の中州の堆積土砂を撤去して欲しい
- ・ 排水ポンプ場点検を念入りにして欲しい
- ・ 高屋川では、国・県により管理状態が違う
- ・ 排水樋門が機能しておらず逆流が発生する

#### その他の意見

- ・ 役所の対応に不満がある
- ・ 堤防天端を広げて欲しい
- ・ 自分で情報を集めないといけないと痛感する
- ・ 平野と七日市通りにて、昔は洪水時に角落しが使われていたが、今は使われていない
- ・ 避難場所、経路などを町内会単位で勉強したい
- ・ 一人暮らしの高齢者・要介護者の把握を行政と地域で
- ・ 浸水被害がおきる前に早めにサイレンなどで知らせしてほしい
- ・ 避難場所が川のそばに有る所もあり、意味がない

#### 住民意見の総括表

分類	小分類	具体的な内容
治水	全般	治水全般に関する意見・要望（下記の小分類できない治水全般の意見）
	津波対策	今後起こる東海・南海地震に伴う河川決壊・津波対策の検討の要望
	内水対策	内水対策させないような整備の検討に対する意見・要望
	整備手法	整備手法のあり方（河床掘削・樹木伐採・除草・護岸整備・堤防強化等）に対する意見・要望
	ソフト	災害時の情報伝達のあり方に対する意見・要望
	気候変動	想定外の外力による災害に対する整備の意見・要望
	ダム関連	ダムの洪水調節や予備放流に対する意見・要望
	改修促進	確実に整備するよう働きかける意見・要望
利水	河川利用促進	用水路の復旧に対する要望・意見
	全般	環境に関する意見・要望（下記の小分類できない環境全般の意見）
環境	河川利用	駐車スペースの設置等の要望
	動植物	動植物に配慮した整備の実施の意見・要望
	景観	景観に配慮した整備の実施の意見・要望
	土砂還元	掘削した土砂を還元する整備の検討の意見・要望
	河川清掃	河川清掃に関する意見・要望
維持管理	全般	維持管理全般に関する意見・要望（下記の小分類できない維持管理全般の意見）
	樹木伐採	樹木伐採における意見・要望
	除草	除草の手法や実施状況に対する意見・要望
	堆積土砂撤去・維持掘削	定期的に維持掘削してほしいなどの整備に対する意見・要望
	河川巡視	河川巡視に対する要望
その他	全般	行政に対するクレーム・意見（危機感がない、住民意見が全く反映されない等）
	災害復旧工事	災害復旧工事に対する意見・要望
	説明不足	情報伝達のあり方についての意見・要望
	避難訓練	災害時を踏まえた避難訓練実施の要望
	アンケート	アンケートの意義に対する意見、結果公表希望等の要望